

2015年度事業計画書

心の教育委員会

担当副理事長：内海 梨恵子 印
 委員長：森 龍二 印
 副委員長：鶴 大地 印
 運営幹事：大野 卓郎 印

運 営 方 針

少子化や核家族化の進行により子どもを取り巻く環境は、大きく変化してきています。人間関係の希薄化が問題視され人と人との絆が注目される中で、親や地域に住む周りの大人たちが、暖かく見守り導き、積極的に関わっていくことが必要不可欠です。だからこそ、私たちが親や子どもと地域を繋ぎ、未来に希望を持った、明るく元気で思いやりの溢れる子どもを育てていかなければなりません。

まずは、歴史と伝統のあるJ C旗争奪大会にてスポーツを通し、多くの学びを得て頂くために、関係諸団体と連携して運営を支援して参ります。次に、次世代の担い手である子どもと親が一緒になって、命の大切さや思いやりなどの道徳心について本気になって考えられる機会を創ります。そして更には、地域を巻き込んで、子どもと周りの大人たちが同じ目標に向かって一緒になって考え、一つの事を成し遂げていくことで、子どもが成長していくことができ、加えて地域の人が積極的に子育てに関わっていけるきっかけを創り出します。そうすることで、お互いに思いやりや絆が生まれ、生き活きと未来に向かって、明るく元気に成長していける場を創り出します。委員会運営においては、委員会メンバー一人ひとりが相手のことを思いやる気持ちを持ち、相手の立場に立って物事を考え、意見をはっきりと言える運営に努めていきます。そして、年間を通し委員会メンバー同士で互いに切磋琢磨し合いながら活動することで、口だけではなく自ら進んで積極的に行動する、道徳心溢れる地域社会のリーダーとなりうる人材へ成長を目指していきます。

子育て世代でもある我々LOMメンバー一人ひとりが地域の先頭に立ち、周りの大人と一緒に、感謝の気持ちと情熱や思いやりを持って接していくことで、未来に希望を抱ける、明るく元気で思いやりの溢れる子どもが育成されます。また、大人も子どもも生きがいを持って成長していくことで、まちを活性化させると確信しております。

事業項目	趣旨・内容・実施予定
会員拡大活動	会員拡大活動（通年）
対外事業運営支援①	第43回J C旗争奪少年サッカー大会 （1月）
対外事業①	心の教育を主眼として、親を巻き込んで実施する青少年育成事業（6月）
対外事業②	心の教育を主眼として、親を巻き込んで実施する青少年育成事業（9月）
対外事業運営支援②	第48回J C旗争奪柔道大会 （10月）